

ある人糟糠の妻に後れて久しく、四十過ぎたる息子と二人廣くもあらぬ家かつがつ守りて暮らしけるが、隣の土地の月極駐車場にて長年經にけるをこの春買ふ人ありて、工事や何やと一頻り騒がしかりし後、小洒落たる家の建ちぬるに二日後より住むべしとチャイム鳴らして若夫婦挨拶に來たり。

いと人良さげにニコニコとして、新參者に侍れば勝手分からず御迷惑掛くることもぞ、何卒良しなに御取り計らひたまへと菓子折り出だす、近頃珍しき禮儀止しさかなと思ひて、年ばかりは多く重ねたればこのわたりのことも大方知りて侍り、何なりと御相談あれかしと愛想良くいらへしけり。

さてこの人々住みつきてよりは、堀越し微かにに優しき歌聲の響き、御飯どきには肉じやがやら焼き魚やらの匂ひほのかに漂ひ來るを、夕刊取りに出づる度覺えず腹の蟲もぐうと鳴り、隣の食卓羨ましくぞ思ひ遣らるるや。

暑き頃は日がな縁側に團扇を友と過ぐしたれば、夕げの匂ひのみならずあるじの出勤車庫の出し入れの上手さ拙さ奥方の洗濯の時間まで手に取るやうに分かるぞかし、歌好きなる人とおぼしく朝の水遣り夕の草取り庭に降るる度ソプラノの口ずさみいと樂しげに、聞く人ありと思はねばにや終はればまた繰り返して果てのなきを、さりとして耳かしがましくも覺えず久しく氣配殺して聞き惚れてゐたき心地するも怪しのわざかな。

さる程に庭の其處此處に仰向けの蟬音もなく轉がり、夕風涼しく釣瓶落としの秋にもなりぬ。

我が宿の柿の木の樹齡四十年になりたる、境界堀跨ぎ隣家の庭まで枝を伸ばしたるが、隣に人住まはぬ程こそ四方八方に葉を落とすも實を落とすも無頓著にてありしか、今年はさすがに遠慮のあればいかにせましと思ひ回して、回覽板の序でに落ち葉のこととて隣の顔色伺ふに、奥方は更に更にと諸手を振りて、さしたる事にもあらぬを御氣遣ひたまふな、見事なる大木堀越しに眺め侍りつつ勝手ながら借景嬉しと喜んで侍るものをと意に介さぬふうなり。

良き隣人に恵まれつるはと有り難く思ひながらも、野分だちて風の吹きしくまたの旦はさは言へど隣の迷惑こよなかるべしとあひ濟まぬ心地のすれば、ひと日木に梯子かけて登り古枝の隣家側まで長くさし出でたる内の二三本、惜しくはあれど半らより切り落としてけり、あなた側へ落ちつる枝もあれば回収せむとて隣の庭其れとなくさし覗くに晝ひなかなげもなし、この頃奥方はパート勤め始めたるやうなるも氣配にてほの知りたれば、在宅狙ひわざと斷り入れて勿體らしく拾ひに行かむもことごとし、さりげはなくて今ただ今靜かに回収すべしと思ひ得て、大袋片手にやをら隣家の庭へ踏み入り、堀の邊り落ちつる枝葉を袋に纏めてぞ運び去りつる、さるは思ひのほかあなた側の落ち葉の多かりければ、これまでいみじき迷惑掛けつらむと今更ながらに申し譯なく、新しき隣人の我と苦情言ひ立つる人々にもあらぬに甘えて、朝夕の落ち葉掃除肩代はりせさせけるよと思ひ知られてよりは、こまめに翦定しつつも其れと知らるるまじく無人の頃見計らひ、庭へ忍び入りてはあなた側のゴミせつせと回収しけり。

ひと日隣は留守と思ひて例の心安く庭へ立ち入り、堀周りの落ち葉など掃き掃除しつつこの頃痛む腰やうやう伸ばし何氣なう返り見るに、二階のカーテンさと閉づるやうなり、一階は兩戸立ててありしかば無人とこそ思ひつれ、人のありつるよと俄かに端たなく覺え

て、今更挨拶せむも人悪き心地すれば落ち葉はさながら箒塵取りのみ抱へて忍び出でつ。

その夜斜交ひの隠居より電話あり、この年頃町内會の會長職交互に務めたる仲なればその筋の話かと思ふにさはなくて、汝が新しき隣人の事とていとうち出で難げに咳拂ひなどす、先月末の頃ほひ先方の旦那より相談ありて、この頃我が家の庭へ無斷に立ち入る人こそあめれ、妻のわりなく怖がりてほとほとノイローゼになりぬべくなむと語氣も荒ららかなるを鎮めてよくよく聞けば、右隣の老人とて汝の事なりければ、いでや數十年來の付き合いもあり人柄の確かなるは言ふまでもなく知られたるを、かく新參の人に不審者扱ひ定めて事情のあるべしと推し量らるればまほにも受けられず聞き過ぐしに、今日動かぬ證據ありと監視カメラやら寫眞やら攜へ夫婦揃ひて來たるにはえこそ庇ひ果てざりつれ、この事如何にまづは身に覺えやある如何でかくまで若き人々の立腹買ひつるぞ、夏祭り役員會の折りはさしも仲惡げには見えざりしをいつよりかく險惡なるぞと續け様に問ふをやうやう遮りて、いさとよさる惡者呼ばはりさるる覺えゆめゆめなきを、ただ一つ思ひ浮かぶふしとしては、我が家の古木枝を伸ばしてかの庭に差し掛かれる、隣に家建たぬ程こそ心にも留めざりしか人住まふ土地となりてよりはさすがに落ち葉氣にかかりて、折々枝葉翦定し、あなた側に落ちたるを回収しに立ち入りなどせしことこの二三回ばかりやありけむ、共働きとかや忙しげなる人々なれば、わざとチャイム鳴らし目的知らせて出で入りすべきことにもあらじ、また隣の爺いかと卻りて煩はしくも思はれむと深くも思ひ回さでせしことをさも大袈裟に他人にまで言ひ散らす、この頃の人の測り難く附き合ひ辛きことよ、昔は通り雨に隣の布團洗濯物まで心配せしものをと言ふを言はせも果てで、それよ奥方の話の一つには不在時洗濯物勝手に取り込まれ縁側に投げ入れられしと、世にも氣味惡げに身振り手振りに繰り返すをあなたの旦那はもちろんな家の女房まで同調してそれは餘りなる事と憤慨頭より湯氣出ださぬばかり、げに昔の善意御互ひ様は今の御節介プライバシー侵害と怖き世にこそなりにたれ、この頃の人は切れ易く訴訟好きなれば如何なる面倒降りかからむとも知らじ、構へて隣にはな近寄りそよと親身に案じて言ひ拵ふるもさることなれば、觸らぬ神に祟りなしとそれより隣と交際絶ちて過ぐしたるに、年かへりて程なくうちつけに引越しの氣配して大型の車斷りもなく前の道を塞ぐを、何ぞ知らせあるべしと敢へて顔出ださず待ちたるも空しく、一言の挨拶もなくして隣は空き家となりければ呆れたる心地して、

新しき 春うち棄てて 音もなく 隣の外車 いづち去にけむ

鶯の 聲にも似たる ソプラノの 歌懐かしく 思ほゆるかな